

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）5 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

サンゲアン・アピ（Sangeang Api） インドネシア（図中 A） 標高 1,949m

5 月 30 日に爆発的噴火が発生し、噴煙が海拔 15.2km まで上昇した。31 日には、より大規模な爆発的噴火が 2 回発生し、噴煙が 13.7～15.2km まで上昇した。降灰はスンバワ島の多くの地域に影響を及ぼし、サンゲアン・アピから半径 8 km の範囲の 4 つの村から 7,328 人が避難した。また、報道によると 5 月 31 日には、ダーウィン国際空港を離発着する全ての便が欠航となった。

シベルチ（Shiveluch） ロシア（図中 B） 標高 3,283m

シベルチでは、5 月の期間を通して噴火が繰り返し発生した。

そのうち、26 日の爆発的噴火では、噴煙が海拔 10km の高さまで上昇し、南南東に 800km 流れた。27 日には、衛星画像により、海拔 3～10km の高さの噴煙が観測され、南に 850km 遠方に流れるのが観測された。衛星画像によると、溶岩ドーム上の熱異常が繰り返し観測されている。

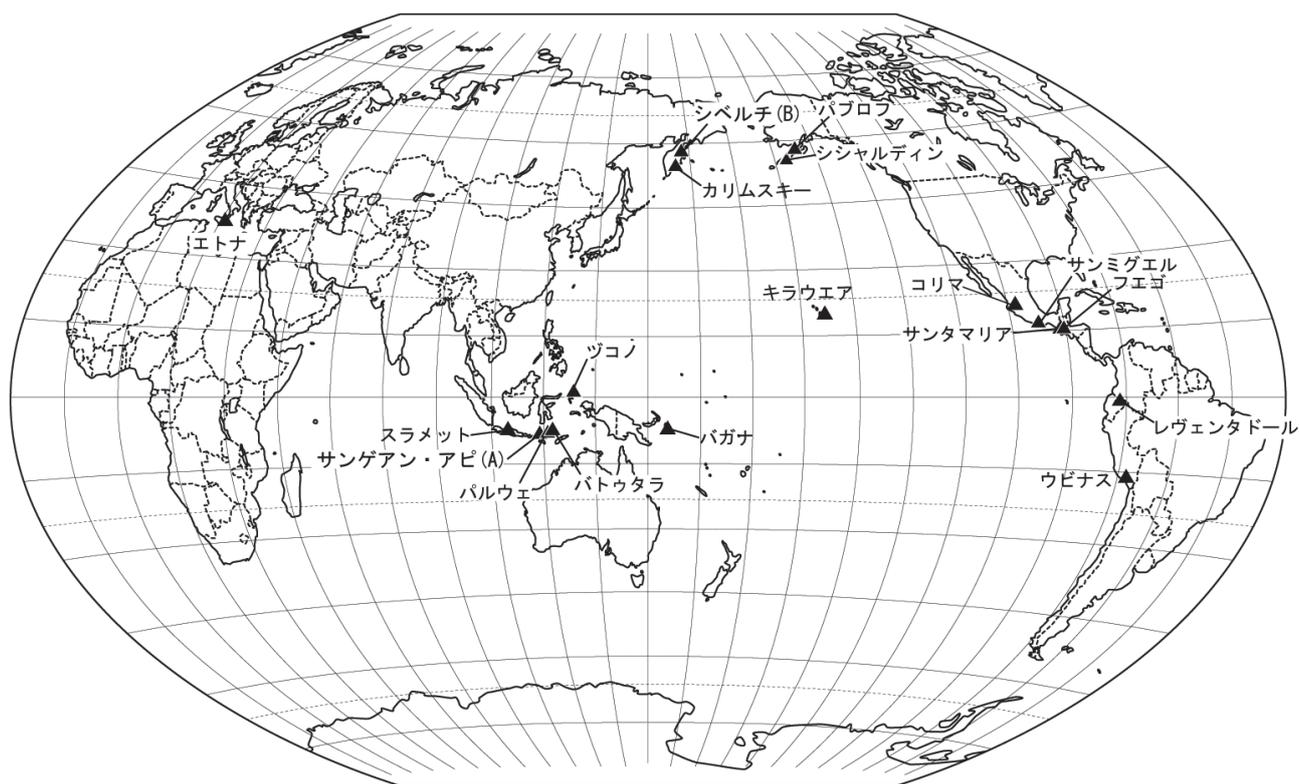


図 1 平成 26 年（2014 年）5 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。